

## 平成 2 2 年度 千葉県年齢別・町丁字別人口調査結果の概要

この調査は、市区町村からの報告を取りまとめたもので、概要に記載した人口は、各年4月1日午前零時現在の「住民基本台帳人口」と「外国人登録者数」の合計です。

統計調査室  
人口・国勢調査担当グループ  
電話 043-223-2223

### I. 人口の動向

#### 1 総人口

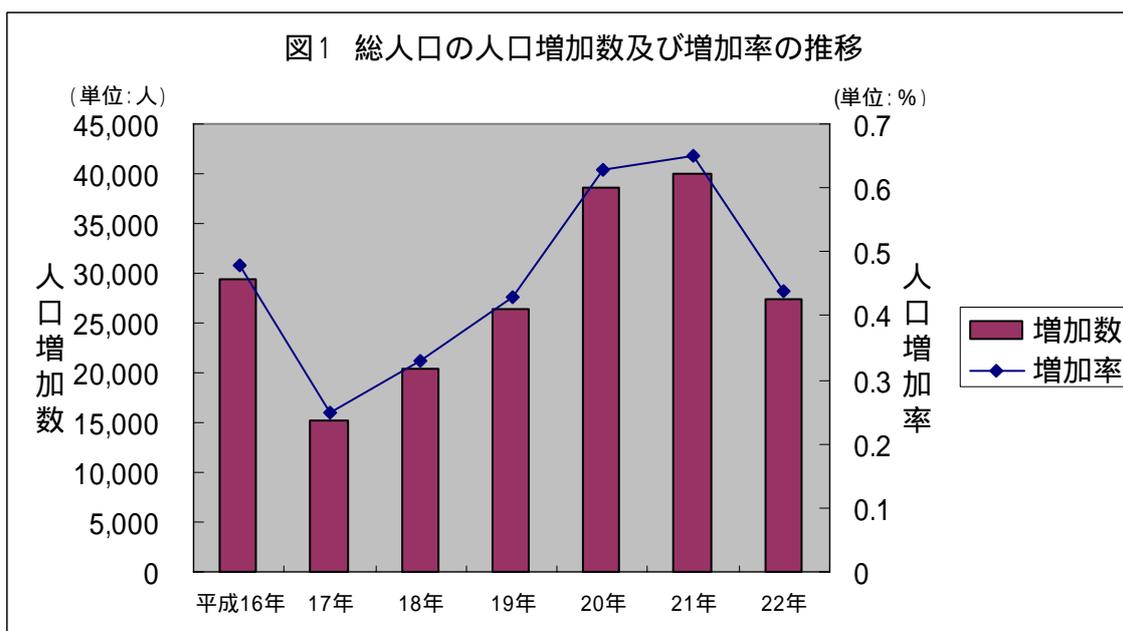
##### (1) 千葉県

平成 2 2 年 4 月 1 日現在の千葉県の総人口は 6 2 6 万 6 , 6 0 8 人で、平成 2 1 年 4 月から平成 2 2 年 3 月までの 1 年間に 2 万 7 , 4 6 3 人 ( 0 . 4 4 % ) 増加した。総人口は引き続き毎年増加しているが、増加率は平成 2 2 年に 5 年ぶりに前年を下回った。(表 1、図 1)

表 1 総人口の推移

年次	総人口(人)	増加数(人)	増加率(%)
平成16年	6,098,434	29,314	0.48
17年	6,113,661	15,227	0.25
18年	6,134,039	20,378	0.33
19年	6,160,519	26,480	0.43
20年	6,199,089	38,570	0.63
21年	6,239,145	40,056	0.65
22年	6,266,608	27,463	0.44

注) 増加数・増加率は前年との比較による。



注) 増加数・増加率は前年との比較による。

## (2) 市町村

人口が最も多いのは千葉市の95万5,022人となっている。次いで、船橋市の60万9,987人、以下、松戸市49万182人、市川市47万5,294人、柏市40万112人の順となっており、この5市で千葉県総人口の46.8%を占めている。(表2)

また、人口が最も少ないのは神崎町の6,712人でとなっている。次いで、睦沢町の7,647人、以下、御宿町8,101人、長柄町8,116人、芝山町8,200人の順となっている。(表3)

表2 多い順

順位	市町村名	人口(人)	千葉県の総人口に占める割合(%)
1	千葉市	955,022	15.24
2	船橋市	609,987	9.73
3	松戸市	490,182	7.82
4	市川市	475,294	7.58
5	柏市	400,112	6.38

表3 少ない順

順位	市町村名	人口(人)	千葉県の総人口に占める割合(%)
1	神崎町	6,712	0.11
2	睦沢町	7,647	0.12
3	御宿町	8,101	0.13
4	長柄町	8,116	0.13
5	芝山町	8,200	0.13

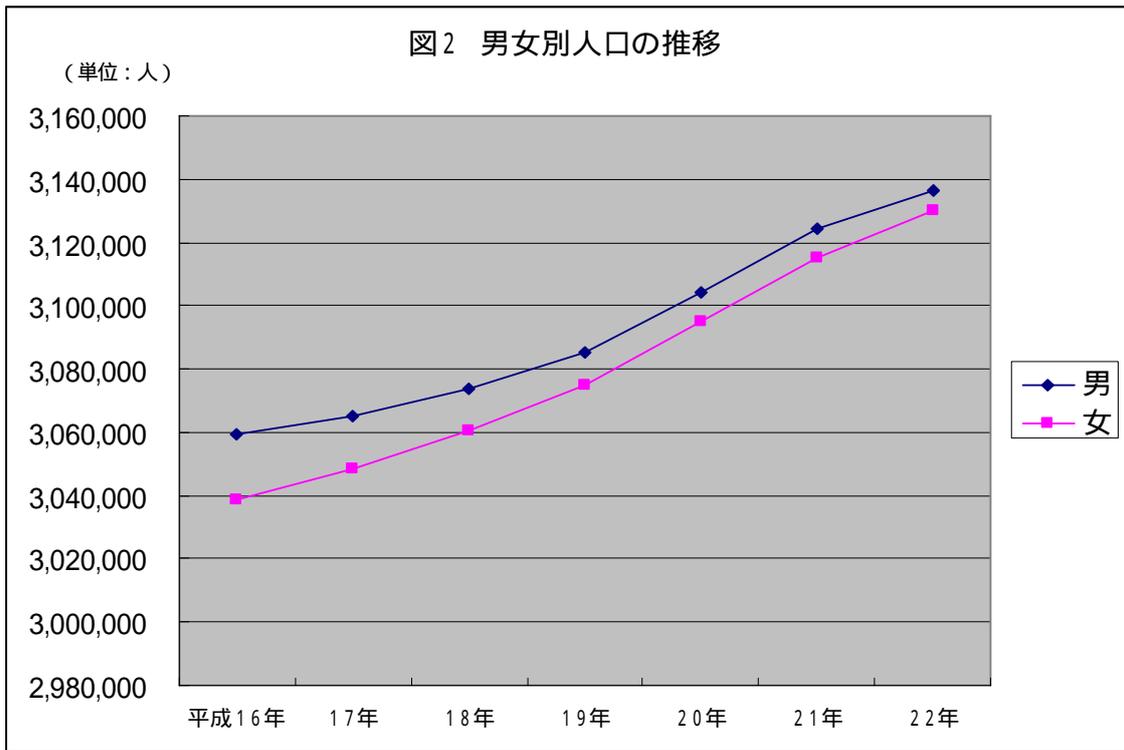
## 2 男女別人口

男女別人口は、平成22年4月1日現在で男性313万6,705人、女性312万9,903人となった。平成21年4月から平成22年3月までの1年間に、男性は1万2,592人(0.4%)の増加、女性は1万4,871人(0.48%)の増加となった。また、男女別人口の推移をみると、その差が縮まっている。(表4、図2)

表4 男女別人口の推移

年次	総数(人)	男(人)	増加数(人)	増加率	女(人)	増加数(人)	増加率
平成16年	6,098,434	3,059,566	11,725	0.38%	3,038,868	17,589	0.58%
17年	6,113,661	3,065,181	5,615	0.18%	3,048,480	9,612	0.32%
18年	6,134,039	3,073,704	8,523	0.28%	3,060,335	11,855	0.39%
19年	6,160,519	3,085,473	11,769	0.38%	3,075,046	14,711	0.48%
20年	6,199,089	3,104,173	18,700	0.61%	3,094,916	19,870	0.65%
21年	6,239,145	3,124,113	19,940	0.64%	3,115,032	20,116	0.65%
22年	6,266,608	3,136,705	12,592	0.40%	3,129,903	14,871	0.48%

注) 増加数・増加率は前年との比較による。

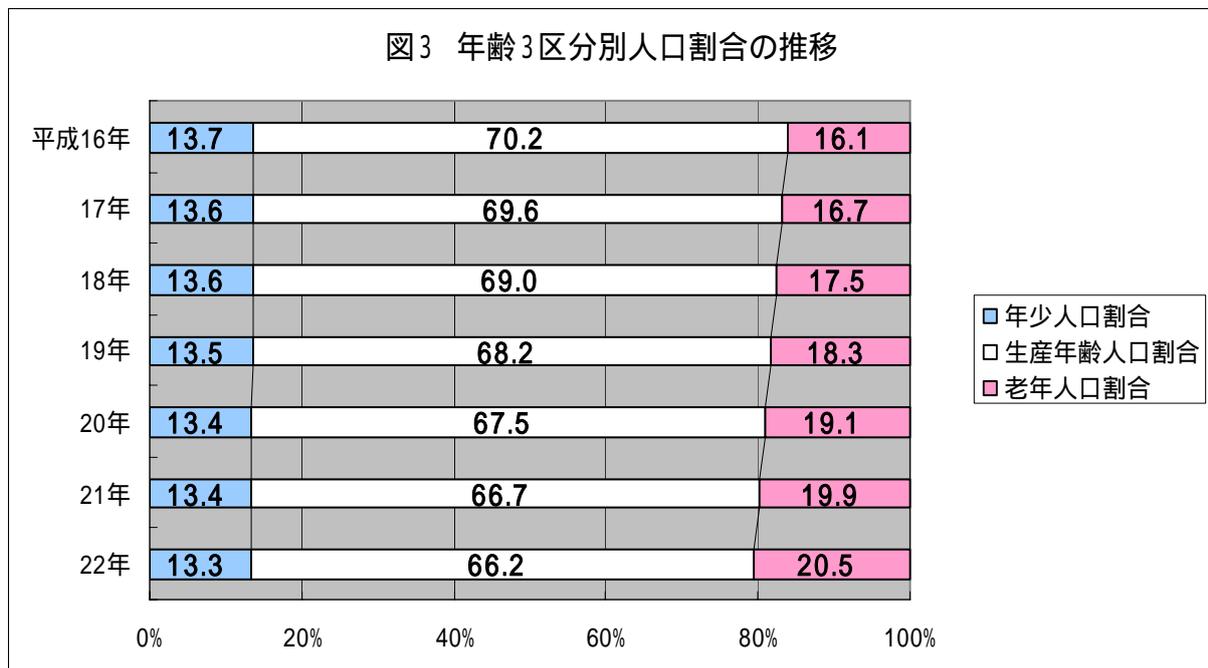


## ・年齢3区分別人口

### 1 千葉県

平成22年4月1日現在の千葉県の年齢3区分別人口は、0～14歳の年少人口が83万4,139人、15～64歳の生産年齢人口が414万9,895人、65歳以上の老年人口が128万2,574人となっており、それぞれ総人口に占める割合は、13.3%、66.2%、20.5%となっている。これを平成21年4月1日現在と比べると、年少人口割合が0.1ポイント減少、生産年齢人口割合が0.5ポイント減少、老年人口割合が0.6ポイント増加となった。

また、平成16年からの年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口割合と生産年齢人口割合は共に減少しており、老年人口割合が増加している。(図3)



## 2 市区町村

年少人口割合が最も高いのは千葉市緑区の16.9%で、次いで、浦安市の16.5%、以下、白井市15.8%、八千代市15.3%、千葉市美浜区15.2%の順になっている。また、最も低いのは御宿町の8.2%で、次いで、勝浦市と長南町の8.7%、以下、鋸南町9.2%、白子町、南房総市、睦沢町9.6%の順になっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは浦安市の72.0%で、次いで、市川市と富里市の70.3%、以下、印西市69.8%、栄町69.1%の順になっている。また、最も低いのは御宿町の52.3%で、次いで、鋸南町の54.1%、以下、南房総市54.5%、大多喜町57.6%、館山市、鴨川市57.8%の順になっている。

老年人口割合が最も高いのは御宿町の39.5%で、次いで、鋸南町の36.7%、以下、南房総市35.9%、勝浦市32.4%、大多喜町32.0%の順になっている。また、最も低いのは浦安市の11.5%で、次いで、印西市の15.7%、以下、千葉市緑区16.0%、市川市16.6%、成田市16.9%の順になっている。(表5、表6、図4)

表5 高い順

(単位:%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	千葉市緑区	16.9	1	浦安市	72.0	1	御宿町	39.5
2	浦安市	16.5	2	市川市	70.3	2	鋸南町	36.7
3	白井市	15.8	2	富里市	70.3	3	南房総市	35.9
4	八千代市	15.3	4	印西市	69.8	4	勝浦市	32.4
5	千葉市美浜区	15.2	5	栄町	69.1	5	大多喜町	32.0

表6 低い順

(単位:%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	御宿町	8.2	1	御宿町	52.3	1	浦安市	11.5
2	勝浦市	8.7	2	鋸南町	54.1	2	印西市	15.7
2	長南町	8.7	3	南房総市	54.5	3	千葉市緑区	16.0
4	鋸南町	9.2	4	大多喜町	57.6	4	市川市	16.6
5	白子町	9.6	5	館山市	57.8	5	成田市	16.9
5	南房総市	9.6	5	鴨川市	57.8			
5	睦沢町	9.6						

図4 年齢3区分別人口割合(県・市区町村別)



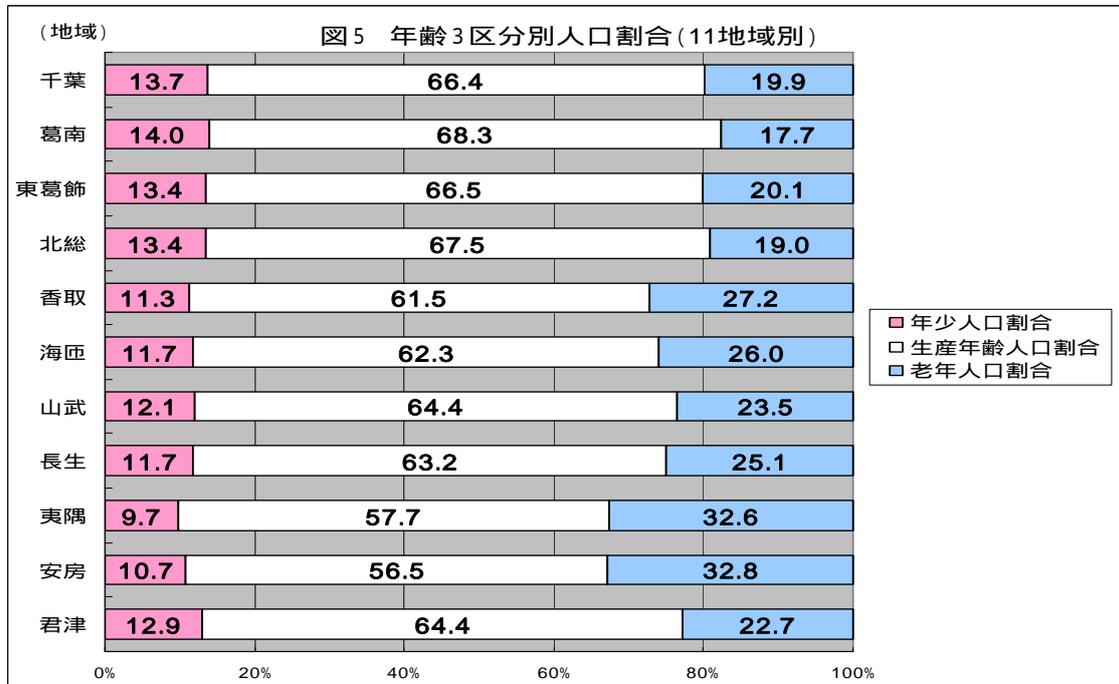
(単位: %)

### 3 1 1 地域

年少人口割合が最も高いのは葛南地域の14.0%で、次いで、千葉地域の13.7%、東葛飾地域と北総地域が13.4%となっている。なお、年少人口割合が最も低いのは夷隅地域の9.7%であった。

生産年齢人口割合が最も高いのは、葛南地域の68.3%で、次いで、北総地域の67.5%、東葛飾地域の66.5%の順になっている。なお、生産年齢人口割合が最も低いのは安房地域の56.5%となっている。

老年人口割合が最も高いのは、安房地域の32.8%となっており、次いで、夷隅地域の32.6%、香取地域の27.2%となっている。なお、老年人口割合が最も低いのは葛南地域の17.7%となっている。(図5)



## ・年齢(5歳階級、各歳)別、男女別人口

### 1 年齢5歳階級別人口

年齢5歳階級別にみると、35～39歳が53万4,306人で最も多く、総数に占める割合は8.53%となっている。

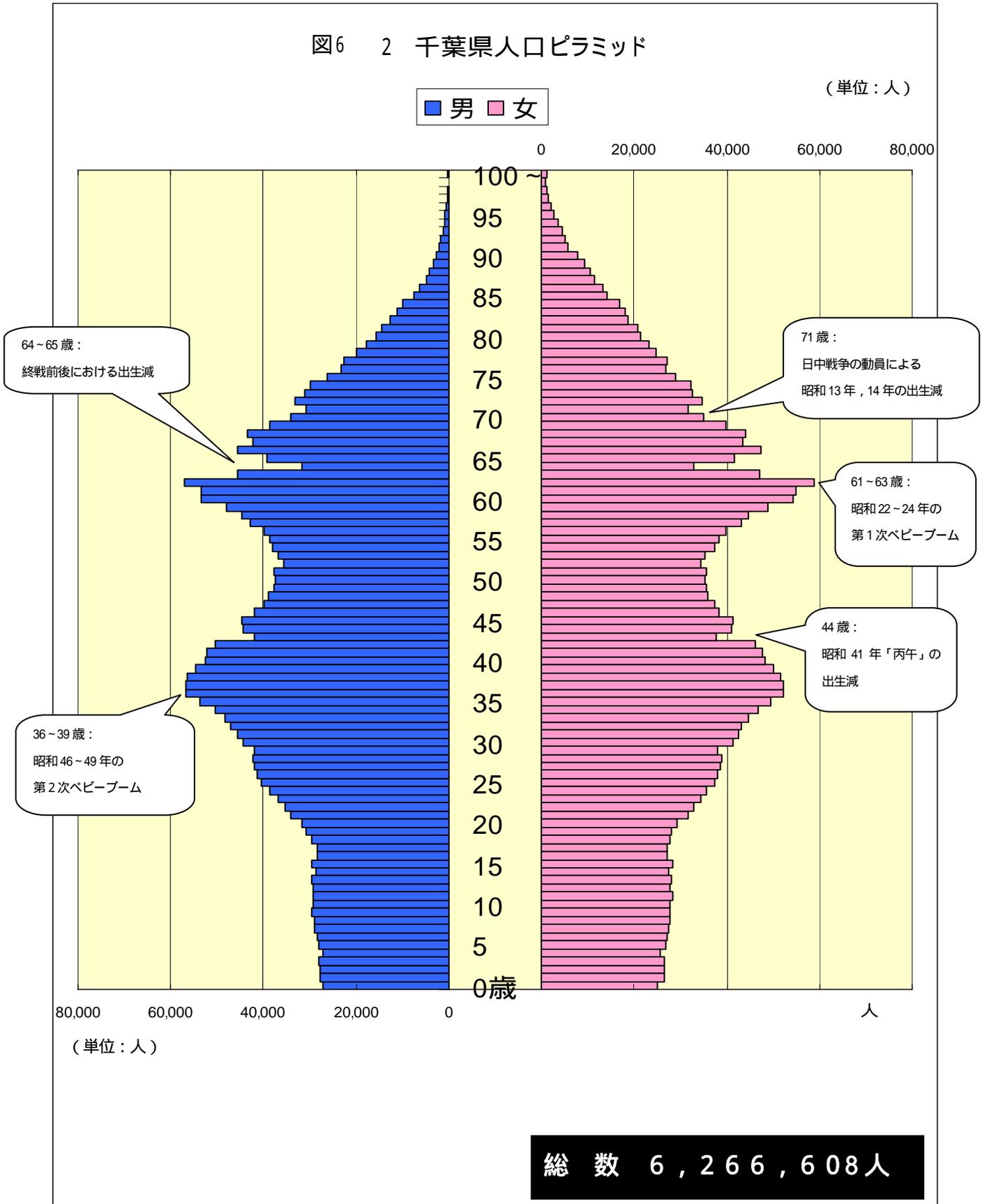
以下、60～64歳が48万9,594人で7.81%、40～44歳が46万2,162人で7.37%、30～34歳が45万4,405人で7.25%、55～59歳が42万8,349人で6.84%の順となっている。(表7)

表7 年齢5歳階級別人口

年齢	平成22年(人)	総数に占める割合(%)
<b>総数</b>	<b>6,266,608</b>	<b>100.00</b>
0～4	268,031	4.28
5～9	280,850	4.48
10～14	285,258	4.55
15～19	285,824	4.56
20～24	340,646	5.44
25～29	399,096	6.37
30～34	454,405	7.25
35～39	534,306	8.53
40～44	462,162	7.37
45～49	391,643	6.25
50～54	363,870	5.81
55～59	428,349	6.84
60～64	489,594	7.81
65～69	425,507	6.79
70～74	325,287	5.19
75～79	240,743	3.84
80～84	159,174	2.54
85～89	84,758	1.35
90～94	35,403	0.56
95～99	10,306	0.16
100～	1,396	0.02

## 2 年齢各歳別人口

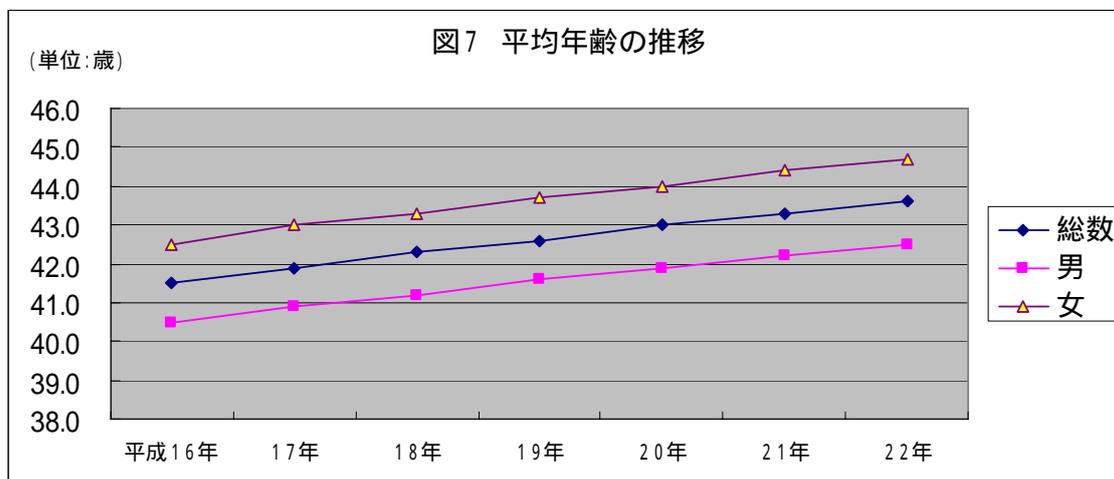
年齢各歳別人口で最も人口が多いのは第1次ベビーブーム世代である、62歳の11万5,996人で、次いで多いのは、第2次ベビーブーム世代である、36歳の10万8,934人となっている。(図6)



## 平均年齢

### 1 千葉県

平成22年4月1日現在の千葉県の平均年齢は43.6歳となっており、平成21年4月から平成22年3月までの1年間に0.3歳上昇している。なお、男女別にみると、男性の平均年齢は42.5歳、女性44.7歳となっている。また、千葉県の平均年齢は平成16年から平成22年までの6年間で2.1歳上昇している。(第4表、図7)



### 2 市区町村

市区町村別の平均年齢が最も高いのは御宿町の54.6歳となっており、県の平均年齢を11.0歳上回っている。以下、鋸南町の53.3歳、南房総市の52.8歳、長南町の51.1歳、大多喜町の50.7歳の順になっている。また、平均年齢が最も低いのは浦安市の38.1歳で、県の平均年齢を5.5歳下回っている。次いで、千葉市緑区の40.4歳、成田市の41.3歳、市川市の41.5歳、白井市41.6歳の順になっている。(表8、表9)

表8 高い順

順位	市区町村名	平均年齢(歳)
1	御宿町	54.6
2	鋸南町	53.3
3	南房総市	52.8
4	長南町	51.1
5	大多喜町	50.7

表9 低い順

順位	市区町村名	平均年齢(歳)
1	浦安市	38.1
2	千葉市緑区	40.4
3	成田市	41.3
4	市川市	41.5
5	白井市	41.6